

上州 太田

【一般社団法人 太田青年会議所2026年度スローガン】

仲間と理想を描き 誇りと覚悟をもって地域の未来をつくろう！

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本年1月1日をもちまして、太田青年会議所は公益社団法人から一般社団法人へと移行いたしました。長年にわたり公益法人としての活動をお支えくださいました行政、関係諸団体の皆様、地域の皆様、そしてシニアクラブの皆様に、改めまして深く感謝申し上げます。

法人格は変わりましたが、私たちの理念や使命がいささかも揺らぐことはありません。引き続き「公に資する存在」であることを強く自覚し、「明るい豊かな社会の実現」という崇高な目的に向かって邁進いたします。一般社団法人という新たな体制のもと、より柔軟かつ迅速に、地域課題の解決、人材育成、そして次世代を担う青年の成長に全力で取り組んでまいる所存です。

昨年2025年度は、田村理事長が掲げた「大いに夢を語り合おう！誰もが輝ける組織と地域の未来のために！」のスローガンのもと、創立60周年からの新たな一步を踏み出した年でした。また、「夢灯フェスティバル～夢を灯し、願いを空へ」においては、多大なるご協賛とご支援を賜り、盛会のうちに事業を成し遂げることができました。ご協力いただきましたすべての皆様へ、心より御礼申し上げます。

さて、私は入会以来、多くの出会いと学びを通じ、「人は歴史の上に生かされている」という思いを強く抱いてまいりました。国、地域、家族、そして太田青年会議所が紡いできた長い歴史。その中に身を置く私たちの役割とは、社会を見つめ、知見を深め、行動をもって地域を導くリーダーを育み、未来を創ることです。これこそが、明るい豊かな社会を実現するために当会議所が担うべき最大の使命であると考えております。

本年2026年度は、まず運動の継承と拡大に力を尽くします。青年会議所の最大の財産は人に他なりません。一人でも多くの仲間を迎えて入れ、多様な価値観が交差する組織となることで、運動はより力強いものとなります。会員拡大とは単なる人数の増加ではなく、地域に変革の種をまき、次世代のリーダーを創出する営みそのもののです。

また、組織の再定義と運営の最適化にも取り組みます。伝統と革新の調和を図った仕組みづくりは不可欠です。メンバーの貴重な時間を守りつつ、誰もが挑戦できる環境を整備してまいります。

さらに、地域課題に向き合う姿勢を一層強化いたします。この地域には多様な課題が存在します。行政、企業、学校、市民団体など多様な主体と協働し、社会実験や対話を通じて課題の本質を捉え、変革の起点となる運動を開拓してまいります。

そして本年度は、未来への投資として子どもたちへの国際機会の提供と原体験の創出に挑戦します。太田青年会議所はこれまで、中華民国・合作JCをはじめ、様々な国際交流を積み重ねてまいりました。本年はその財産を活かし、異文化交流や挑戦の機会を提供することで、子どもたちが自らの言葉で想いを語り、未来を切り拓く力を育んでまいります。62年にわたり積み重ねてきたこの運動を、さらに強く、魅力あるものへ。地域の未来のため、そして次代を担う青年の成長のため、本年も全力で邁進してまいります。

皆様におかれましては、本年も変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人
太田青年会議所
2026年度
第62代理事長

高橋 佑介



新春対談

穂積昌信 × 高橋佑介

〈太田市長〉

〈第62代理事長〉

高橋理事長

大学生のときに、姉がメキシコに行ったことをきっかけに初めて海外に触れ、大きな刺激を受けました。その後、留学も経験し、価値観や人生観が大きく広がりました。2024年度は日本青年会議所の国際関係の委員長も務め、海外の青年たちと接する機会を多くいただきました。さらに、太田青年会議所として、台湾・台中の合作国際青年商會との交流も続いています。

こうした経験やご縁を、今度は太田市内の学生の「原体験」として届けたい。自分が大学生になってから得たものを、もっと早い段階で子どもたちに味わってもらえたなら、将来を考えるきっかけになるのではないかと思っています。太田市でも交換留学事業に取り組まれていますが、教育や国際感覚を育むことの意義について、市長のお考えを伺いたいです。



穂積市長

おっしゃる通り、海外は「行ってみなければ分からぬ」世界です。そこで得た経験は良くも悪くも一生残り、その後の人生に大きな影響を与えます。子どもの頃にさまざまな体験をすることは、将来を形づくる大きな要素になりますし、教育はまさに国の根幹だと感じています。一方で、社会が複雑化する中、日本の若者の死因の多くが自殺という現実があります。学校に行けない子どもたちもいて、その理由は一人ひとり違う。簡単に答えが出る問題ではありませんが、だからこそ、学校だけに任せることではなく、地域社会全体で「本当の意味で子どもを支える」仕組みをつくっていく必要があります。

学校に通えている子はもちろん、そうでない子も等しく学べる環境を整えること。そして、将来のことを少しでも考えられるような体験の場を提供すること。その中で、国際的な視野を身につけることは大きな意味があります。もし、学校にはなかなか行けないけれど、海外には関心があるという子がいるのであれば、むしろそういう子にこそ渡航してほしい。世界の現実に触れることで、何かが変わるきっかけになるかもしれません。こうした取り組みが、どこかのタイミングで生まれることを期待しています。



穂積昌信(ほづみ・まさのぶ)

〔生年月日〕1974年9月18日

〔出身地〕群馬県太田市

〔学歴〕早稲田大学人間科学部卒

〔略歴〕

2015年 群馬県議会委員選挙 当選
2016年 群馬県議会図書広報委員会 副委員長
2017年 群馬県議会環境農林常任委員会 副委員長
2018年 群馬県議会総務企画常任委員会 副委員長
2019年 2期当選
2019年 農林環境常任委員会 委員長
2019年 議会基本条例推進委員会 副委員長
2020年 厚生文化常任委員会 委員長
2021年 総務企画常任委員会 委員長
2022年 健康福祉常任委員会 委員長
2023年 3期当選
2023年 自民党群馬県連 県議団長
2024年 自民党群馬県連 政調会長
2025年 太田市長選挙 初当選
太田市長 就任

新春対談

穂積昌信×高橋佑介

高橋理事長

2026年度は、姉妹提携を結んでいる台中の青年会議所とのご縁を活かし、太田の中高生を台湾に連れていきたいと考えています。人数は多くはありませんが、数名から十数名を対象にしたいと思っています。

大切なのは、渡航した子どもたちが“アンバサダー”として役割を果たしてくれるかどうかです。現状で学校に行けていない子や、興味・関心の持ちどころが分からずすぶっているような子にも、彼らの体験や気づきが伝わってほしい。

その仕掛けとして、帰国後に友人や学校で話してもらったり、発表の場を設けたりしたいと考えています。私の中では、市議会の議場での発表が一つのイメージです。報道関係者にも来ていただき、ほかの学生にも聞いてもらう。相当緊張すると思いますが、その経験も含めて、子どもたちにとっては大きな財産になるはずです。



穂積市長

とても良いアイデアだと思います。議場での発表は確かに緊張するでしょうが、海外での体験と、帰国後のアウトプットまでを一つのプロセスとして経験できれば、子どもたちにとっては忘れられない学びになるでしょう。

現状で悩みを抱えている子どもたちが、いきなり海外に行くのは簡単ではありませんが、まずは行った子が周りに伝えていくことで、次の一步につながる可能性があります。そうした「波紋」が広がるような事業は、太田市にとっても非常に意義深いと感じます。市としても、協力できるところがあれば、ぜひ力になりたいですね。



高橋 佑介 (たかはし・ゆうすけ)

第62代理事長

高橋理事長

ありがとうございます。国際事業の一方で、「まちづくり」の分野でも子どもたちの参画の場をつくっていきたいと考えています。市長は22万人の太田市民を代表して市政を担っておられます。現在のまちづくりの課題についても、お考えを伺えますでしょうか。

穂積市長

市長として就任して以来、私が大事にしているのは「一つひとつの物事に向き合い、全力を尽くす」という姿勢です。首長は何か一つの分野に重点を置き、「太田市といえばこれだ」という特徴を打ち出すやり方もあります。しかし、社会はそれだけで成り立っているわけではありません。表に出る部分があれば、どうしても陰になってしまう部分もある。それが世の中の縮図です。

だからこそ、その“表と裏”をできるだけなくしていきたい。まちづくりの課題は多岐にわたりますが、「太田市の未来」と一口にいっても、それは誰にとっての未来なのか——まずそこを考えたいと思っています。

新春対談

穂積昌信×高橋佑介

22万人一人ひとりが、それぞれの未来を背負っている。その一人ひとりのために、市として何ができるか、どんな後押しができるか。

ときには「家から一步外に出る」「近所の人とお茶を飲みに行く」「グラウンドゴルフに参加してみる」。言葉になるとささやかなことかもしれません、そうした一步の積み重ねが街を変えていきます。遠方から移住してきたひとり親の方に、友人ができる場をつくることもそうです。そうした“身近な小さなこと”を後押しできるまちづくりをしていきたいですね。

同時に、太田市は「ものづくりの街」という大きな顔を持っています。大企業は安定して利益を出していくとも、中小企業は事業承継や経営面で大きな悩みを抱えています。ものづくりを担う中小企業の皆さんが新たな一步を踏み出し、新しい価値を生み出せるよう、市としてさまざまな事業や支援策を通じて後押ししていきたい。太田市を、ものづくりを主軸としながらも、新たな価値が次々と創造される街にしていくことが目標です。

高橋理事長

太田青年会議所でも、上州ファントレインやランタン事業などを通じて、外から太田の魅力を知ってもらう取り組みや、子どもたちに夢を語ってもらう場づくりを行ってきました。来年度も、さまざまな主体が今より一步前に進めるような事業を構想していきたいと思っています。

青年会議所の活動を通じて強く感じるのは、「街を良くする」という目的を掲げながら、一番成長させてもらっているのは自分自身だということです。多くの経営者の方や行政の皆さん、子どもたちと関わる中で、リーダーとしての視点や覚悟を学ばせていただきました。青年会議所は、まさにリーダーを育成する団体だと感じています。

穂積市長

私自身も、JCがなければ「町のために何かを考える」という発想すら持たなかつたと思いますし、仲間と一緒に汗を流す経験もできなかつたでしょう。震災後の事業では、自分たちの「思いやり」が相手にとては押しつけになりかねないということも学びました。相手を理解することの難しさ、人と人をつなぐことの尊さ——それらを教えてくれたのが青年会議所でした。

一方で、仲間と事業をやり遂げた経験は、今でも年に一度集まって昔話で盛り上がるほどの絆になっています。大人になってから、会社とは違う形で友情を育める貴重な場所がJCです。

リーダーとは、自分の想いを持ち、それを共有して一緒に動いてくれる仲間が

いて初めて成り立つものです。結果がどうなるかは分からぬ。それでも、最後までやり遂げる過程にこそ価値がある。その感覚を、私はJCでたくさん経験させてもらいました。これから太田青年会議所の皆さんにも、ぜひ多くの挑戦を通じて、街のため、そして自分自身の成長のために活動を続けていってほしいと思います。

高橋理事長

チームをつくる経験も、JCならではの学びですね。

本日はお忙しいところ、貴重なお話をありがとうございました。



2026年度 委員長紹介

Part 1

総務広報委員会

委員長 田辺雄大



2026年度総務広報委員会委員長を務めさせていただきます。田辺雄大と申します。2026年度総務広報委員会では青年会議所の本質である会議そのものの質を高めることに加え、広報活動を通じ体内では一人でも多くの正会員が活動に参加してもらえるよう努めること、

また、体外には私たちの姿勢、想いを伝え、太田青年会議所が魅力であるとことを伝えていけるように一年間邁進してまいります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、御指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

会員開発委員会

委員長 須藤脩仁



2026年度会員開発委員会委員長を務めさせていただきます、須藤脩仁と申します。

仲間とのつながりを大切にし、前向きに参加したくなる空気づくりを進めます。委員会だけでなく、会全体の盛り上がりに貢献できる一年を目指してまいります。

諸先輩方をはじめメンバーの皆様、御指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

交流委員会

委員長 鈴木雄介



2026年度交流委員会委員長を拝命いたしました。鈴木雄介と申します。

本年度は、メンバー同士がより自然に関わり合い、互いを理解し合える交流の場をつくることを軸に活動してまいります。委員会や役職の垣根を越えたつながりが広がることで、組織全体の活力

が高まり、太田青年会議所の更なる飛躍につながると考えております。気軽に参加でき、笑顔が生まれる場づくりを心掛け、メンバーが「参加してよかったです」と感じられる委員会を目指します。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

2026年度 委員長紹介

Part2

まちづくり委員会

委員長 横田卓



2026年度まちづくり委員会委員長を務めさせていただきます、横田卓と申します。当委員会では、地域の課題に向き合うこととその解決に向けた活動を行っていきます。この地域のために青年会議所として何ができるのか、子どもたちのためにできることはあるのかを考え、

地域の方々と連携をしながら活動をしていきます。こうした行動が、地域に愛される組織となること、この地域に住む方々のためになることを信じております。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

国際関係委員会

委員長 茂木將多



2026年度国際関係委員会委員長を務めさせていただきます、茂木將多と申します。

本年度国際関係委員会では、海外との交流や国際的な視点に触れる機会を通じ、多様な価値観を学び、組織の活性化につながる取り組みを進めてまいります。これらの経験

が太田青年会議所そして太田市の更なる成長に寄与すると信じ、一年間邁進して参ります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

組織力拡充特別委員会

総括幹事 武藤仁也



2026年度 組織力拡充特別委員会 総括幹事を務めさせていただきます武藤仁也と申します。我々は会員拡大をメインとした中で、メンバー1人1人に伴走し太田青年会議所の「魅力」を再認識することでメンバー全員での会員拡大を行っていきます。

地域のために、またこの組織のために我々は身を粉に邁進して参ります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様ご指導ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

2026年度 出向者紹介



佐藤 崇史
(公社)日本青年会議所
関東地区協議会/会計監査人

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2026年度、公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会において会計監査人の職をお預かりさせていただくこととなりました。本年度関東地区協議会では、「つながる力が、未来をつくる～地域間連携による共生社会の実現～」を基本理念とし、地域間連携による広域経済圏や共生型社会の確立等を目指して活動いたします。私は、各委員会が目的に向けて走るあまり、会計ルールを逸脱しないかを監督する役回りとなります。思えば10年前、初めての出向が関東地区協議会でした。関東地区協議会で始まった出向が関東地区協議会で終わるということを感慨深く思ながら、1年間邁進してまいります。先輩諸兄姉のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



設楽 祐介
群馬ブロック協議会
群馬の未来共創委員会/委員長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2026年度、群馬ブロック協議会にて群馬の未来共創委員会委員長を拝命いたしました、設楽祐介です。本年度は「One Team, One Spirit 未来へ紡ぐ群馬の力」を基本理念とし、未来共創委員会、ブランディング支援委員会、連携運動支援委員会の三委員会で事業を進めてまいります。

初めての委員長職となります、成長の機会として感謝し、カーボンニュートラル推進、魅力発信、ブロック大会運営に全力を注ぎ、出向で得た学びを太田青年会議所へ還元できるよう努めてまいります。高橋理事長をはじめ、現役メンバーの皆様のご支援、シニアクラブの皆様のご指導のほど、心よりお願い申し上げます。



岡部 隆道
両毛地域青年会議所協議会
両毛交流委員会/委員長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2026年度、両毛地域青年会議所協議会にて両毛交流委員会の委員長を務めます岡部隆道です。本年度は「心を通わせ、絆を育む交流事業」の実施を柱とし、両毛6JCのメンバーが互いに同じLOMの仲間のようだと感じ合えるほどの強固な繋がりを築くことを目標としています。まずは委員会メンバー同士が深く繋がり、その熱を各地LOMへ波及させることで、一人ひとりが両毛という広い視野で学び、補い合える関係性を構築してまいります。出向という貴重な機会を通じ、私自身も楽しみながら挑戦し、太田青年会議所の代表として恥じぬよう一年間活動してまいります。現役メンバーの皆様、シニアクラブの皆様からのご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2026年度 出向者一覧

(公社)日本青年会議所

委員会名称	役職	氏名
内部会計監査人グループ	関東地区代表	佐藤 崇史
総合連絡調整会議	委員	関 晃一
	委員	角田 英晃
	委員	山田 宗平

関東地区協議会

委員会名称	役職	氏名
共生社会確立委員会	会計監査人	佐藤 崇史
	副委員長	谷永 明日香
	委員	浅尾 恭宏
	委員	清宮 豪
	委員	西村 愛美
事務局	委員	岩崎 混弥
	委員	鶴貝 智
	委員	橋本 正由樹
	委員	宮下 智文

群馬ブロック協議会

委員会名称	役職	氏名
群馬の未来共創委員会	監査担当役員	大塚 祐輔
	委員長	設樂 祐介
	総括	三澤 拓夢
	委員	阿部 恵美
	委員	清宮 豪
ブランディング支援委員会	委員	山越 嵩浩
	委員	佐藤 航太
連携運動支援委員会	委員	福島 大樹
	委員	武井 一樹
事務局	委員	山田 崇史
	委員	浅尾 恭宏
	委員	河内 利明
	委員	佐口 寛汰
	委員	相馬 謙
	委員	和田 泰義

両毛地域青年会議所協議会

委員会名称	役職	氏名
両毛交流委員会	直前会長	柳 大介
	委員長	岡部 隆道
	総括幹事	稻塚 祐輔
	委員	佐藤 卓磨
	委員	萩原 和真
	委員	小暮 恭平
両毛人材育成委員会	委員	重原 巧
	委員	大川 翔平
	委員	小泉 昌大
	委員	鯉沼 涼
	委員	佐藤 崇史
	委員	谷永 明日香
事務局	委員	橋本 宗佑

太田青年会議所を
代表して、
各地で活躍する
メンバーの皆様です。
応援よろしく
お願いします！

■発行／一般社団法人 太田青年会議所

■群馬県太田市浜町3-6 ☎373-0853

■メールアドレス▶info@otajc.com

■編集／総務広報委員会

■TEL (0276) 48-1103 ■FAX (0276) 48-1104

■ホームページアドレス▶http://www.otajc.com/

